# ピコスルファートナトリウム 2.5mg 錠「イワキ」の生物学的同等性資料

岩城製薬 学術部

	銘柄名	販売会社
試験製剤	ピコスルファートナトリウム 2.5mg 錠「イワキ」	岩城製薬
標準製剤	ラキソベロン錠 2.5mg	帝人ファーマ

ピコスルファートナトリウム 2.5mg 錠「イワキ」の前身であるシンラック錠は、シンラック液の錠剤としてシンラック販売(1987年)直後から検討され、ラキソベロン液との同等性試験を行い、同等であることを確認し、更に臨床試験で各適応疾患の有用性を確認し、1990年に錠剤として剤形追加の承認を得た。その後、2003年に局外規第三部「ピコスルファートナトリウム錠の溶出規格」に適合し、ラキソベロン錠2.5mgと同等性を確認し、2006年及び2019年に販売名変更を行い、現在に至る。

生物学的同等性資料として公的溶出試験を、同等性参考資料として液剤と錠剤の薬効比較及び臨床試験結果の概要を示す。

#### 1.生物学的同等性資料

### (1)公的溶出試験

局外規第三部「ピコスルファートナトリウム錠の溶出規格」における溶出試験 (平成 16 年オレンジブック No. 19 掲載)

試験方法:日局溶出試験法第2法(パドル法)

条 件:回転数 50 rpm

試験液:水

溶出規格:製剤規定時間溶出率ピコスルファートナトリウム錠 2. 5mg15 分80%以上

溶出試験結果:(公的溶出試験15分での溶出率(%))

	試験槽1	試験槽2	試験槽3	試験槽 4	試験槽 5	試験槽6	結果判定
ロット1	99. 1	99. 5	97. 9	99. 2	99. 6	99.6	適
ロット2	100.9	100.3	100. 5	102.6	101.3	103. 1	適
ロット3	102. 2	99.6	99.8	95. 1	103.0	100.4	適

結 論:ピコスルファートナトリウム錠2.5mg「イワキ」(旧販売名 シンラック錠2.5)は、 日本薬局方外医薬品規格第3部に定められたピコスルファートナトリウム錠の溶出 規格に適合していることが確認された。

## (2)公的溶出試験の参考試験

試験方法:日局溶出試験法第2法(パドル法)

条 件:回転数 50 rpm

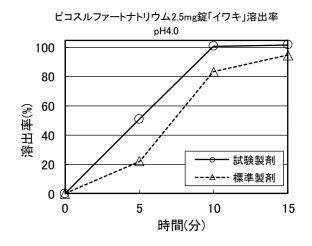
試 験 液:pH1.2、pH4.0、pH6.8のリン酸塩緩衝液及び水

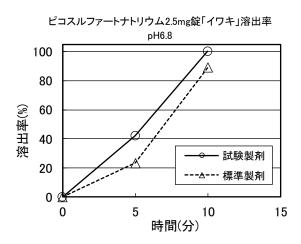
溶出曲線:次頁に示す。

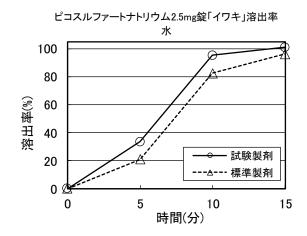
結果:後発医薬品のガイドラインに従い、以下のように溶出挙動の類似性を判定した。

後発医薬品のガイドライン における 判定基準	標準製剤が 4 溶媒全て 15 分以内に平気 85%以上溶出する。試験製剤 は 15 分以内に平均 85%以上溶出する。また、15 分において、試験製 剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率の±15%の範囲内にある。
本溶出試験の判定理由	ピコスルファートナトリウム錠 2.5mg「イワキ」は、15分以内に全て
	平均85%以上溶出し、溶出挙動は同等と判定された。
結果判定	適

## (グラフ:溶出挙動)







## 2. 生物学的同等性の参考資料

## (1)液剤と錠剤の薬効比較 (n=10)

健常なネコにピコスルファートナトリウム錠 2.5mg「イワキ」または標準製品液剤を経口投与し、投与後 3 日間低用量および高用量での糞便中の水分率(%)を測定し、有効性について比較検討した結果、両製剤の瀉下効果は同等であった。

		健常時および薬剤投与後の糞便中の水分率(%)			
	試験条件	低用量(10mg/head)	高用量(40mg / head)		
投与 薬剤	ピコスルファートナトリウム錠 2.5mg「イワキ」	71. $4 \pm 4$ . 4	68.0±2.5		
架削	標準製品液剤	72. $0 \pm 4.1$	$69.0 \pm 3.4$		
健常時	È	63. 1±4. 2			

## (2) 臨床試験の概要

九州大学医学部付属病院放射線科および福岡大学筑紫病院内科において実施した胃 X 線検査の受診者に以下の様に薬剤を投与した。(硫酸バリウム同時投与)

 $5 \,\mathrm{m}\,\mathrm{g}\,$  投与と  $7.5 \,\mathrm{m}\,\mathrm{g}\,$  投与についてピコスルファートナトリウム錠  $2.5 \,\mathrm{mg}\,$  「イワキ」とラキソベロン 内用液  $0.75 \,\%$  の効果に有意な差はみられなかった。

	薬剤	ピコスルファート ナトリウム量	総症例数
試験製剤	ピコスルファートナトリウム 2.5mg 錠「イワキ」2 錠	5.0mg	18
	ピコスルファートナトリウム 2.5mg 錠「イワキ」3 錠	7.5mg	54
標準製剤	ラキソベロン内用液 0.75% 10 滴	5.0mg	15
	ラキソベロン内用液 0.75% 15 滴	7.5mg	59

## 初回排便時間

薬剤		当日	翌日午前中	翌日午後	翌々日	翌々日まで排便なし
5. 0mg	試験製剤	17 (94. 4)	1 (5. 6)	0(0)	0(0)	0(0)
	標準製剤	13 (86. 7)	2 (13. 3)	0(0)	0(0)	0(0)
7.5mg	試験製剤	49 (90. 7)	5 (9. 3)	0(0)	0(0)	0(0)
	標準製剤	46 (80. 0)	10 (16. 9)	2(3.4)	1(1.7)	0(0)

(%)

## 白色便の排泄

薬剤		当日のみ	翌日まで	翌々日まで	翌々日まで排便なし			
F 0	試験製剤	3 (16. 7)	13 (72. 2)	2(11.1)	0(0)			
5.0mg	標準製剤	3 (20. 0)	10 (66. 7)	2(13.3)	0(0)			
7.5mg	試験製剤	14 (25. 9)	29 (53. 7)	11 (20. 4)	0(0)			
	標準製剤	8 (13. 6)	38 (64. 4)	9 (15. 3)	4(6.8)			

(%)

# 排便回数

	薬剤			3 回	2 回	1 回	排便なし
	МП	試験製剤	1(5.6)	2(11.1)	7 (38. 9)	8 (44. 4)	0(0)
	当日	標準製剤	0(0)	0(0)	6 (40. 0)	8 (53. 3)	1(6.7)
E 0mm	<b></b>	試験製剤	0(0)	1(5.6)	8 (44. 4)	9 (50. 0)	0(0)
5. 0mg	翌日	標準製剤	0(0)	2(13.3)	2(13.3)	11 (73. 3)	0(0)
	翌々日	試験製剤	0(0)	0(0)	2(11.1)	16 (88. 9)	0(0)
		標準製剤	0(0)	1(6.7)	3 (20. 0)	11 (73. 3)	0(0)
	当日	試験製剤	11 (20. 4)	12 (22. 2)	16 (29. 6)	14 (25. 9)	1(1.9)
		標準製剤	7 (11. 9)	10 (16. 9)	20 (33. 9)	12 (20.3)	10 (16. 9)
7 5mg	翌日	試験製剤	2(3.7)	6(11.1)	15 (27. 8)	28 (51. 9)	3 (5. 6)
7.5mg	立口	標準製剤	3 (5. 6)	6 (10. 2)	24 (40. 7)	24 (40.7)	2(3.4)
	翌々日	試験製剤	2(3.7)	2(3.7)	9 (16. 7)	33 (61. 1)	8 (14. 8)
	笠々日	標準製剤	1(1.7)	2(3.4)	14 (23. 7)	39 (66. 1)	3 (5. 1)

(%)

便の性状

薬剤		水様便	軟便	普通便	やや硬い	硬便	排便なし	
	当日	試験製剤	5 (27. 8)	4(22.2)	7 (38. 9)	2(11.1)	0(0)	0(0)
		標準製剤	7 (46. 7)	3 (20. 0)	3 (20. 0)	1 (6. 7)	0(0)	1 (6. 7)
F 0ma	翌日	試験製剤	1 (5. 6)	7 (38. 9)	8 (44. 4)	2(11.1)	0(0)	0(0)
5.0mg	笠口	標準製剤	0(0)	8 (53. 3)	7 (46. 7)	0(0)	0(0)	0(0)
	翌々日	試験製剤	0(0)	4(22.2)	12 (66. 7)	2(11.1)	0(0)	0(0)
		標準製剤	0(0)	1 (6. 7)	14 (93. 3)	0(0)	0(0)	0(0)
	当日	試験製剤	28 (51.9)	18 (33. 3)	5 (9. 3)	1(1.9)	1(1.9)	0(0)
		標準製剤	27 (45. 8)	15 (25. 4)	4(6.8)	3 (5. 1)	0(0)	2(3.4)
7 5ma	翌日	試験製剤	6(11.1)	31 (57. 4)	12 (22. 2)	2(3.7)	0(0)	0(0)
7.5mg	笠口	標準製剤	7 (11. 9)	35 (59. 3)	11 (18. 6)	4(6.7)	0(0)	1(1.7)
	翌々日	試験製剤	2(3.7)	7 (13. 0)	35 (64. 8)	2(3.7)	0(0)	0(0)
	笠々 口	標準製剤	4(6.8)	25 (42. 4)	21 (35. 6)	6(10.2)	0(0)	1(1.7)

(%)

以 上